

あいちオレンジタウン推進計画における認知症施策の進捗状況について

進捗状況（評価）
A：目標を達成
B：計画時策定数値より改善した
C：計画時策定数値と横ばい
D：計画時策定数値より下回った。
E：未調査

資料Ⅰ

あいちオレンジ タウン推進計画 の“5つの柱”	目標項目 （★がついている目標はあいちオレン ジタウン構想による取組の成果や課題 等を踏まえた重点プロジェクト）	あいちオレンジタウン推進計画					
		計画目標 （2026年度末まで）	計画策定時数値 （2023年度末）	進捗状況（2025年度末）		事業内容	
				数値	評価	2025年度実績	2026年度予定
Ⅰ 普及啓発・本人発信支援	認知症サポーターの養成	増加	585,523人 （2022年度）	685,481人	A	・県職員等を対象に認知症サポーター養成講座の開催（1回、114名参加）	・県職員等を対象に認知症サポーター養成講座の開催
	本人の意見を重視した施策の展開	全ての市町村	18市町 （2022年度）	22市町 （2024年度）	B	・市町村における本人発信支援の取組の支援（春日井市と連携し実施）	・市町村における本人発信支援の取組の支援
	愛知県認知症希望大使と協働した普及啓発★	愛知県認知症本人大使との協働の継続	愛知県認知症希望大使と協働の実施	2024年4月に「第二期愛知県認知症希望大使」を委嘱し、取組を推進中	A	・愛知県認知症希望大使2名の委嘱（2024年4月～2027年3月末） ・認知症県民フォーラムや高校や県内市町村等での講演、交流会等において大使と協働した普及啓発活動の実施	・認知症県民フォーラムや高校や県内市町村等での講演、交流会等において大使と協働した普及啓発活動の実施
Ⅱ 予防	介護予防に資する通いの場への参加率の向上	8.0%	4.3% （2021年度）	通いの場の参加率5.1%（2024年度）	B	・通いの場フォーラムの開催（1回、282名参加、後日動画配信実施（R8.3.11～3.31）） ・通いの場取組募集の開催（10団体応募、うち3団体の取組紹介動画を制作）	・通いの場フォーラムの開催 ・通いの場取組募集の開催
	高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施する市町村数	全市町村	41市町村 （2023年度）	54市町村	A	市町村で一体的実施に関する業務に従事する者が、効果的な事業実施方法や事業に必要な知識を理解し、事業を効果的に推進することを支援するため、有識者による講演、市町村の取組発表及びグループワークでの研修会を開催（2回、188名参加）	市町村で一体的実施に関する業務に従事する者が、効果的な事業実施方法や事業に必要な知識を理解し、事業を効果的に推進することを支援するため、有識者による講演、市町村の取組発表及びグループワークでの研修会を開催
Ⅲ 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	認知症地域支援推進員の新任者・現任者研修受講率	全認知症地域支援推進員が新任者・現任者研修を受講	89.5% （2022年度）	91.00%	B	・市町村が設置する認知症地域支援推進員の養成（54名）	・市町村が設置する認知症地域支援推進員の養成
	認知症地域支援推進員の業務内容の実施率★	向上	国要綱に定める地域支援推進員の業務内容のうち取り組んでいるものの割合 65.5% （2022年度）	71.8% （2025年度見込）	B	・認知症地域支援推進員の推進員スキルアップ研究会を実施（1回、52名参加） ・認知症地域支援推進員、初期集中チーム員等の地域別合同研修を実施（3回、158名参加） ・認知症地域支援推進員及び市町村職員等認知症地域支援関係者向けに、認知症地域支援推進員や初期集中支援チーム等の活動支援・強化に関するコンテンツを受講できる研修プラットフォームを運用（コンテンツの追加、対象者の拡大）	・認知症地域支援推進員の推進員スキルアップ研究会を実施 ・認知症地域支援推進員、初期集中チーム員等の合同研修を実施 ・認知症地域支援推進員及び市町村職員等認知症地域支援関係者向けの研修プラットフォームの更新・充実
	医療・介護従事者向け研修における意思決定支援に関するプログラムの実施	継続実施	実施	対象11研修全てにおいて導入済み	A	医療・介護従事者向け研修において、「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」の内容を実施する。	医療・介護従事者向け研修において、「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」の内容を実施する。
	在宅介護者向け手引き等の作成・普及★	手引き等の作成	—	手引き等の作成	A	家族介護者向けの手引き等の作成に向けて、手引き作成検討会議（12回）、避難体験の実践（1回43名）等を実施	2025年度に作成した災害時への備えを含む在宅介護に関する家族介護者向けの手引きを印刷・製本し、市町村や地域包括支援センター等へ配布するとともに、作成過程で得られた成果の報告及び手引きの周知を目的とした取組報告会を開催。

あいちオレンジ タウン推進計画 の“5つの柱”	目標項目 (★がついている目標はあいちオレン ジタウン構想による取組の成果や課題 等を踏まえた重点プロジェクト)	あいちオレンジタウン推進計画					
		計画目標 (2026年度末まで)	計画策定時数値 (2023年度末)	進捗状況(2025年度末)		事業内容	
				数値	評価	2025年度実績	2026年度予定
Ⅳ 認知症バ リアフリー の推進・若 年性認知症 の人への支 援・社会参 加支援・災 害時等にお ける支援	チームオレンジの構築	全ての市町村	22市町村 (2022年度)	35市町村 (2024年度)	B	・チームオレンジコーディネーター研修の開催(68名)	・チームオレンジコーディネーター研修の開催
	認知症カフェ活動を推進するための研修の実施★	2024年度から認知症カフェ活動を推進するための研修等の実施	—	認知症カフェの好事例紹介などカフェ活動を推進するための研修を年3回実施	A	認知症カフェの安定的かつ効果的な運営を促進するため、認知症カフェ運営者・市町村職員・地域包括支援センター職員等を対象とした「認知症カフェ関係者研修会」を開催(3回開催、119名参加)	認知症カフェの安定的かつ効果的な運営を促進するため、認知症カフェ運営者・市町村職員・地域包括支援センター職員等を対象とした「認知症カフェ関係者研修会」を開催
	認知症の人にやさしい企業サポーターONEアクション研修の新たなプログラムの開発・普及★	開発	—	新たなプログラムの普及・拡大のためのセミナー等を実施	A	新たなプログラムを含むONEアクション研修の普及・拡大を目的としたONEアクション研修兼異業種交流会(1回)及び講師養成研修会(2回)を開催	・新たなプログラムを含むONEアクション研修の普及・拡大を目的としたONEアクション研修兼異業種交流会及び講師養成研修を開催
	成年後見制度に係る中核機関の整備	全ての市町村	38市町村 (2022年度)	45市町村	B	市町村における体制整備支援のため、専門家や先進地域の中核機関職員等からなるアドバイザーを派遣(3回派遣)	市町村における体制整備支援のため、専門家や先進地域の中核機関職員等からなるアドバイザーを派遣
	成年後見制度に係る市町村計画の策定	全ての市町村	43市町村 (2022年度)	48市町村	B	市町村における体制整備支援のため、専門家や先進地域の中核機関職員等からなるアドバイザーを派遣(3回派遣)	市町村における体制整備支援のため、専門家や先進地域の中核機関職員等からなるアドバイザーを派遣
	市民後見人の養成研修の実施★	2024年度から実施	—	197名受講、142名修了	A	・県内における権利擁護支援に係る担い手の確保・育成のため、市民後見人等養成研修及び法人後見実施団体養成研修を実施	・県内における権利擁護支援に係る担い手の確保・育成のため、市民後見人等養成研修及び法人後見実施団体養成研修を実施
	法人後見実施団体の養成研修の実施	2024年度から実施	—	全県を対象とした法人後見実施団体養成研修を開催	A	・県内における権利擁護支援に係る担い手の確保・育成のため、法人後見実施団体養成研修を実施(1回)	・県内における権利擁護支援に係る担い手の確保・育成のため、法人後見実施団体養成研修を実施
	若年性認知症の人の早期相談支援体制(企業の理解促進)★	2024年度から企業向け研修会等での説明・講義	—	既存の企業向け研修会等で若年性認知症に関する説明・講義を実施	A	・既存の企業向け研修会等で若年性認知症に関する説明・講義を実施(4研修)	・企業を対象とした研修会等で若年性認知症に関する説明・講義を実施する。
	社会参加支援の実施★	2024年度から県が実施する研修等の運営への本人の参画	—	11回延べ39名の参加	A	・認知症の人の社会参加の場の創出のため、県主催の研修等で認知症の本人が運営に参画(11回延べ39名(支援者含む)参加)	・認知症の人の社会参加の場の創出のため、県主催の研修等で認知症の本人が運営に参画
Ⅴ 研究成 果の社会 実装の 促進	【再掲】在宅介護者向け手引き等の作成・普及★	手引き等の作成	—	手引き作成に向けた勉強会の開催及び調査・課題整理等を実施	A	家族介護者向けの手引き等の作成に向けて、手引き作成検討会議(12回)、避難体験の実践(1回43名)等を実施	2025年度に作成した災害時への備えを含む在宅介護に関する家族介護者向けの手引きを印刷・製本し、市町村や地域包括支援センター等へ配布するとともに、作成過程で得られた成果の報告及び手引きの周知を目的とした取組報告会を開催。
	あいちデジタルヘルスプロジェクトの推進	サービス・ソリューションの社会実装数24件	—	サービス・ソリューションの社会実装に向けた取組の実施10件、ポータル・データ連携基盤の構築	B	・あいちデジタルヘルスコンソーシアムを中心とした、新たなサービス・ソリューションの創出・社会実装の促進 ・「フレイルへの進行予防」、「生きがいつくり」、「地域居住・生活支援」を柱とする産学官連携による先行事業(7テーマ)の実施 ・デジタルヘルス共創促進事業として高齢者等が抱える課題の解決に向けた新サービスの実証事業の推進(3件) ・住民にサービス・ソリューションを提供するためのポータル及びデータ連携基盤の設計・構築	・あいちデジタルヘルスコンソーシアムを中心とした、新たなサービス・ソリューションの創出・社会実装の促進 ・「フレイルへの進行予防」、「生きがいつくり」、「地域居住・生活支援」を柱とする産学官金連携による先行事業(7テーマ)の実施 ・デジタルヘルス共創促進事業として高齢者等が抱える課題の解決に向けた新サービスの実証事業の推進 ・住民にサービス・ソリューションを提供するためのポータル及びデータ連携基盤の運用

※対象研修(11 研修)
○医療従事者向け認知症対応力向上研修(かかりつけ医、認知症サポート医、歯科医師、薬剤師、一般病院勤務の医療従事者、看護師、病院勤務以外の看護師等)
○介護従事者向け認知症対応力向上研修(認知症介護指導者養成研修、認知症介護実践リーダー研修、認知症介護実践者研修、認知症介護基礎研修)